

とう どう よう いち 東 堂 陽 一



県議会報告
No.27
平成31年1月1日号

12月県議会定例会トピックス

台風24号による災害への対応

台風24号は県西部を中心に甚大な被害をもたらしました。県の集計による被害総額は111億円余、農業関連については58億円余の被害が発生しました。最大71.5万戸に及んだ大規模な停電は市民生活に多大な影響を及ぼしました。我家も4日間の停電となり、不便な生活を強いられ、改めて電気の有り難さを実感しました。12月定例会では災害対応補正予算60.44億円を可決しました。

遠州灘海浜公園基本計画策定事業費(新野球場計画)

『県西部地域6市1町の首長をはじめ、地元経済界、野球関係者の新野球場建設に対するコンセンサスが得られたことから、新野球場を含めた公園施設の規模、配置等を設定する公園基本計画を策定することとし、必要経費8,000万円を計上する。』との知事の発言。エコパへの建設を主張している私は、残念ながら少数派です。

特別支援学校へのエアコン設置

特別支援学校31校の普通教室全室に平成31年度の夏まで

にエアコンを設置します。事業費は8億660万円、12月定例会で3.23億円が追加補正されました。自民改革会議は特別支援学校へのエアコン設置の前倒しを要望し実現しました。

スマート農業の推進

人気テレビ番組『下町ロケット』でも扱われているロボット技術やICTを活用して省力化・精密化や高品質生産を実現する新たな農業のこと。担い手の高齢化、深刻な労働力不足の解決策として期待をされています。



ロボットトラクター
(29年9月5日 北海道大学野口研究室)

社会健康医学の推進

ノーベル賞を受賞した本庶佑先生が委員長を務める“推進委員会”が取り組みを進めています。これまでの健康長寿の取り組みを体系化し、医療ビッグデータの活用、疫学研究による分析、ゲノム科学の応用などの健康長寿の更なる延伸に資する研究を推進し、得られた成果を随時県民の皆様に還元します。

掛川市内を回る



大坂認定こども園起工式
(30年5月22日 安全祈願のスピーチ)



生活支援車運行開始式
(30年6月12日 中地区まちづくり協議会)



肴町薬師堂御開帳
(30年7月24日 お化け屋敷も同時開催)



逆川の現地視察
(30年8月22日 暑い中お疲れ様でした)



仁藤町区敬老会
(30年10月21日 片目で奮闘中)



海岸砂防作業(堆砂垣)視察
(30年11月18日 千浜海岸)

30年9月26日 静岡県議会本会議の一般質問 (質問者 議席番号44番 東堂陽一)

静岡県文化プログラムのあり方について

Q 東京オリンピック2020大会に向けた本県の文化プログラムの柱の一つである「提案プログラム」については、まちづくりや福祉との協働など、ユニークな取組が行われているが、少なくとも2020年までは、何らかの形で、こうした取組を支援していく必要があるのではないか。

Q再質問 提案プログラムの応募時点において4年間の継続支援があるとのことだったが、それが突然2年間の支援に方針を変更されたと聞いている。例えば掛川市のプログラム「地域部活」においては、学校の部活動に準ずる新たな取組として、既に生徒達への説明の上で指導を行っていることから、生徒から希望した部活動の機会を途中で奪う結果にもなりかねない。当初の説明で示されていたように4年間の継続支援をすべきだ。

県内医師の不足、偏在への対応について

Q 本年度から新専門医制度が始まり、若手医師の多くが高度な医療の知識と経験が得られる大病院が多くある東京での研修を希望し、県外へ流出している。将来を見据えたこの課題、医師不足への対応として、県内各地域の高校生等に医師を目指してもらえるように、教育現場における医学部進学者の増加につながる取組の強化が重要である。また、修学研修資金制度のあり方について、見直しを検討していく必要がある。

Q再質問① 医学修学研修資金の制度について、現場の医師からは「もう少し改良してもらえれば、更に使いやすくなる」、「静岡県に戻ってきやすくなる」という御意見もいただいている。奨学金の返還の在り方は十分に考える必要がある。また、専攻医の大都市への集中を解消するためには、研修先の基準見直しなど、早急の対応が必要であるが、これは国レベルの話である。知事にも県のことを考えて国への要望をお願いしたい。

Q再質問② 静岡県出身の医学生数は多いのか、少ないのか、お聞きしたい。少ないという前提

で話をしているが、医学部を目指す高校生を増やすことが将来地元に戻ってくる医師を増やす方策の一つだと考える。全国の医学部に強い高校を見ると、ほとんどが中高一貫校である。静岡県立高等学校第三次長期計画においては、中高一貫校の適正配置を踏まえた新たな設置の検討という記述もある。このような観点から、中高一貫校の新たな設置を考えてみてはどうかと思っている。

Q再々質問 静岡県出身の医学生数は多いのか少ないのか。

掛川市西部地域を流れる河川の大規模氾濫からの減災対策について

Q 掛川市西部地域には、逆川や倉真川などの河川が合流しながら流れ下っている。当地域は河川の堤防に挟まれた地区も多く、本年7月の西日本豪雨では、河川の合流点付近の堤防が決壊して被害が発生したとの報道もあり、同様の水害が発生する危険性も否定できない。河川の特性を踏まえた対応が必要ではと考えている。

Q再質問 掛川市が検討している減災対策について、二級河川に囲まれた地域という特性もある。県の積極的な関与を求めたい。

A 箕交通基盤部長 市だけ県だけということではなかなか効果的な対策ができないということになるかと思しますので、市と連携を良くして、効果的な減災対策をできるように努めていきたい。

今回の私の質問項目

- ① 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練について
- ② メガソーラーなど太陽光発電施設の建設による乱開発への対応について
- ③ 静岡県文化プログラムのあり方について
- ④ 県内医師の不足、偏在への対応について
- ⑤ 茶園の基盤整備の推進について
- ⑥ 掛川市西部地域を流れる河川の大規模氾濫からの減災対策について

各地でイベント花盛り



元気いっぱいストリートパフォーマンス
(30年8月25日 いとくり通り)



曾我地区学習センターまつり
(30年11月11日 トラとウサギも参加)



あんころ餅制作中
(30年11月18日 フェスタ粟本)



東堂陽一事務所

〒436-0225 掛川市家代65-1
TEL.23-3091 FAX.22-1141

県政に対するご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

E-mail:toudouyouichi@yahoo.co.jp
http://www.toudouyouichi.com/

